

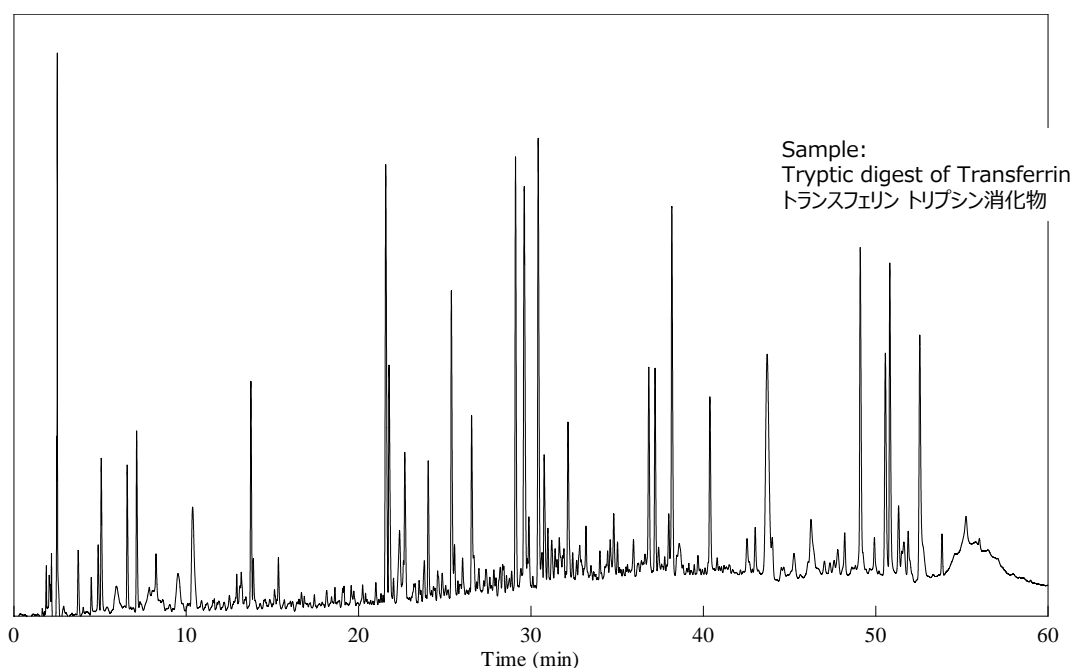
ペプチドマッピング(トランスフェリン) Tryptic digest of Transferrin

タンパク質を同定する方法の一つに、ペプチドマッピングと呼ばれる手法があります。タンパク質をトリプシンなどの酵素で分解し、得られたペプチドをHPLCやLC/MSにより一斉分析し、そのクロマトグラムやマススペクトルなどから同定する方法です。ここでは、血液中のFeを輸送する糖タンパクであるトランスフェリンをトリプシンによって酵素消化し、得られたペプチドをUHPLCカラムで分析しました。L-column2 ODS (粒子径2 μm)、内径2.1 mm、カラム長さ150 mmを2本連結させた結果、多くのペプチドを分離することができました。このときのカラム圧力は95 MPa以下でした。

Key words : ペプチドマッピング トランスフェリン UHPLC 超高速液体クロマトグラフィー
Column : USP category: L1

[Analytical conditions]

Column : L-column2 ODS (C18, 2 μm , 12 nm), 2.1 mm I.D. \times 150 mm L.; Cat. No. 713020, 2本連結(300 mm L.)
Eluent : A: 0.1% TFA in CH_3CN , B: 0.1% TFA in H_2O
A/B, 2/98-45/55 (0-60 min)
Flow rate : 0.4 mL/min
Temperature : 40°C
Detection : UV 215 nm
Injection volume : 10 μL
System : Nexera (Shimadzu Co.)



2010.08 Saka